

室町時代

001 13～14世紀にかけて権力に従わず活動した武士団は何か

悪党

002 1334年に後醍醐天皇が定めた元号は何か

建武

003 1335年ごろ、鴨川の河原に掲げられた政治の混乱を風刺する内容の文は何か

二条河原の落書

004 吉野におかれた後醍醐天皇の朝廷を何というか

南朝

005 足利尊氏が京都に擁立した朝廷を何というか

北朝

006 足利尊氏が征夷大將軍となり、開いた幕府は何か

室町幕府

007 室町幕府の名の由来となった、3代將軍が建てた邸宅は何か

花の御所

008 守護職が年貢の徴収権を得て権力を強めたものを何というか

守護大名

009 室町幕府で將軍を補佐するものとして設置された役職は何か

管領

010 室町幕府が関東地方を治めるために設置し、代々足利氏が務めた役職は何か

鎌倉公方

011 鎌倉公方を補佐する役職から後には関東を掌握した、代々上杉氏が就任した役職は何か

関東管領

012 室町幕府が九州に設置し、李氏朝鮮との外交や倭寇への対応を行った役職は何か

九州探題

013 守護に代わって陸奥国を統治した役職は何か

奥州探題

014 足利尊氏が元へ派遣した貿易船は何か

天竜寺船

015 13世紀ごろから朝鮮半島や中国沿岸で海賊行為を行った集団を何というか

倭寇

-
- 016 室町幕府が明と行った公式な貿易船であることの証明書による貿易は何か
- 勘合貿易
-
- 017 室町幕府将軍が明の皇帝に日本国王と認めてもらう形での貿易を何というか
- 朝貢貿易
-
- 018 日明貿易で日本から明に輸出されたものは何か
- 銅・硫黄・刀剣
-
- 019 日明貿易で明から日本に輸出されたものは何か
- 明銭・生糸
-
- 020 北海道に居住し、コシャマインの戦いを起こした民族は何か
- アイヌ
-
- 021 室町時代に多く見られた、農民による自治が行われた村を何というか
- 惣村（惣）
-
- 022 村落が共同で所有する山林などの土地を何というか
- 入会地
-
- 023 荘園領主への年貢を村落が直接納めるしくみは何か
- 百姓請（地下請・村請）
-
- 024 祭りや年貢など村全体の取り決めを話し合う会議は何か
- 寄合
-
- 025 徳政令を求めて村落が起こした暴動は何か
- 土一揆
-
- 026 浄土真宗の信者による権力への抵抗活動は何か
- 一向一揆
-
- 027 地頭がその土地で独自の勢力を持つようになったものは何か
- 国人
-
- 028 国人の守護に対する反乱を何というか
- 国一揆
-
- 029 身分が下位のものが上位のものを政治的・軍事的に打ち負かすことを何というか
- 下剋上
-
- 030 明や朝鮮から輸入され、16世紀には三河国（愛知県）で生産が始まった繊維は何か
- 木綿
-
- 031 室町時代の定期市は月に何回行われていたか
- 6回（六斎市）
-

032 鎌倉時代にはじまる商工業者の同業者集団は何か

座

033 室町時代の市でさかんに使われた貨幣は何か

永楽通宝

034 大きな蔵を持ち、質屋（物品を預かり金を貸す）として活動したのは何か

土倉

035 本業である醸造業の他に貸金業も営んだ商人は何か

酒屋

036 鎌倉時代の水運業者が、卸売業も営むようになったものは何か

問屋

037 室町時代に栄えた、陸上運送業者は何か

馬借

038 幕府によって定められた禅宗寺院の格付けは何か

五山

039 関東管領であった上杉憲実によって整備された学校は何か

足利学校

040 寺社での祭礼で催された音楽や芝居からなる芸能は何か

猿楽

041 観阿弥・世阿弥によって大成された伝統芸能は何か

能

042 和歌の上の句と下の句を互いに読み合う遊びは何か

連歌

043 室町時代に始まった立春の前日に行われる風習は何か

節分（豆まき）

044 踊り念仏から派生した、祖先の霊をまつるために催された踊りは何か

盆踊り

045 室町時代に多くが作られた、浦島太郎などの物語を何というか

御伽草子

046 室町時代に成立した、植物やその器を鑑賞する芸術は何か

華道（いけばな）

047 足利義満が北山に建てた別荘は何か

金閣

室町時代

-
- 048 足利義政が東山に建てた別荘は何か
- 銀閣
-
- 049 たたみ、ふすま、床の間など現代の和室につながる室町時代の建築様式は何か
- 書院造
-
- 050 現在の和風建築と同様の様式で建てられた慈照寺の中の建物は何か
- 東求堂
-
- 051 石や砂だけで水があるかのような庭園を造ったものを何と
いうか
- 枯山水
-
- 052 京都の伝統的織物で応仁の乱に由来する名前を持つものは
何か
- 西陣織
-
- 053 雪舟が大成した絵の様式は何か
- 水墨画
-
- 054 中国・日本・東南アジア各地と貿易を行った琉球王国の貿
易形態は何か
- 中継貿易
-
- 055 平安時代に始まり、応仁の乱で中断したが町衆の尽力で再
開された祭りは何か
- 祇園祭
-
- 056 善光寺の長野や延暦寺の坂本のように、寺社を中心に栄え
た町を何と
いうか
- 門前町
-
- 057 1333年、足利高氏（尊氏）が攻略した鎌倉幕府の拠点
はどこか
- 六波羅探題
-
- 058 1333年、新田義貞が攻略した鎌倉幕府の拠点はどこか
- 鎌倉
-
- 059 建武の新政に失敗した後醍醐天皇が逃れた先はどこか
- 吉野
-
- 060 足利義満が花の御所を建てた場所はどこか
- 室町
-
- 061 元をモンゴルへ追い出し、中国を統一した王朝はどこか
- 明
-
- 062 高麗を滅ぼし、朝鮮半島を統一した国はどこか
- 朝鮮（李朝）
-
- 063 1429年、尚巴志によって沖縄に建国された国はどこか
- 琉球王国
-

064 尚巴志が都とした城はどこか

首里城

065 16世紀に国内でいち早く綿花の栽培がさかんとなった地域はどこか

三河国（愛知県東部）

066 浄土真宗（一向宗）の本山となる寺院はどこか

石山本願寺

067 足利義満の死後に、北山山荘（金閣）を寺院とした寺はどこか

鹿苑寺

068 足利義政の死後に、東山山荘（銀閣）を寺院とした寺はどこか

慈照寺

069 細川勝元の建立で、枯山水の石庭が世界遺産に指定されている寺はどこか

竜安寺

070 日明貿易や琉球との交易で栄え、日本ではじめて商人たちの自治都市となった港町はどこか

博多

071 商人による自治で栄えた大阪湾に面した港町はどこか

堺

072 善光寺の門前町として栄えた町はどこか

長野

073 1331年、鎌倉幕府打倒を図り挙兵したのは誰か

後醍醐天皇

074 鎌倉幕府14代執権で滅亡時の実質的指導者は誰か

北条高時

075 1333年、鎌倉幕府側の手勢として京を攻めたが、倒幕側につき六波羅探題を攻め落としたのは誰か

足利尊氏（高氏）

076 1333年、鎌倉を攻め落としたのは誰か

新田義貞

077 建武の新政を始めた天皇は誰か

後醍醐天皇

078 吉野に逃れた天皇に対抗して、北朝に建てられた天皇は誰か

光明天皇

079 鎌倉幕府打倒の中心となり、湊川の戦いで敗れた悪党出身の武士は誰か

楠木正成

-
- 080 後醍醐天皇の皇子で倒幕に活躍し征夷大将軍となるが、足利尊氏と対立し暗殺されたのは誰か
- 護良親王
-
- 081 足利尊氏の弟で、兄を補佐し幕府の中心となるが、のちに対立し観応の擾乱を引き起こしたのは誰か
- 足利直義
-
- 082 足利尊氏の子で、室町幕府2代将軍となるのは誰か
- 足利義詮
-
- 083 足利尊氏の執事として活躍したが、観応の擾乱で討たれたのは誰か
- 高師直
-
- 084 室町幕府の管領を出した三管領家は誰か
- 斯波氏・細川氏・畠山氏
-
- 085 室町幕府で侍所の長官（所司）を出した四職は誰か
- 赤松氏、一色氏、京極氏、山名氏
-
- 086 室町幕府第3代将軍は誰か
- 足利義満
-
- 087 対馬国の守護大名として朝鮮との外交・貿易にあたったのは誰か
- 宗氏
-
- 088 1429年、琉球王国を統一したのは誰か
- 尚巴志
-
- 089 アイヌとの戦いで活躍し道南を治めたのは誰か
- 蠣崎氏
-
- 090 室町幕府第4代将軍は誰か
- 足利義持
-
- 091 「くじ引き将軍」の異名を持つ、室町幕府第6代将軍は誰か
- 足利義教
-
- 092 室町幕府第8代将軍で、後継者争いから応仁の乱を引き起こしたのは誰か
- 足利義政
-
- 093 室町幕府第8代将軍の妻で、息子を将軍にするために応仁の乱を引き起こしたのは誰か
- 日野富子
-
- 094 室町幕府第9代将軍は誰か
- 足利義尚
-
- 095 応仁の乱で東軍の総大将となったのは誰か
- 細川勝元
-

096 応仁の乱で西軍の総大将となったのは誰か

山名宗全 (持豊)

097 「新撰菟玖波集」の選者となり、連歌を大成した連歌師は誰か

宗祇

098 猿楽を能へと大成した2人の人物のうち、父親は誰か

観阿弥

099 能を大成させ、「風姿花伝」を著したのは誰か

世阿弥

100 水墨画を大成させたのは誰か

雪舟

101 1334年、天皇中心の政治を目指し後醍醐天皇が始めた政治は何か

建武の新政

102 1335年、北条氏の残党が鎌倉で起こした反乱は何か

中先代の乱

103 1336年、九州で兵を集めた足利尊氏の軍勢と後醍醐天皇側の軍勢で行われた決戦は何か

湊川の戦い

104 足利尊氏の弟直義と、高師直の争いに端を発する戦乱は何か

観応の擾乱 (かんのうのじょうらん)

105 足利尊氏が南朝に降伏し、一時的に北朝が消滅した出来事は何か

正平一統

106 1392年、明德の和約によって足利義満が実現したことは何か

南北朝の合一

107 1419年、倭寇討伐のため朝鮮が対馬を攻撃した出来事は何か

応永の外寇

108 1428年、近江国の坂本や大津で馬借が徳政令を求めて起こした一揆は何か

正長の土一揆

109 1441年、将軍足利義教が守護大名の赤松則祐に暗殺された出来事は何か

嘉吉の変

110 1441年、将軍暗殺の混乱の中、徳政令を求めた一揆は何か

嘉吉の徳政一揆

111 1457年、アイヌが蜂起し道南十二館を攻撃した戦いは何か

コシヤマインの戦い

-
- 112 管領畠山氏の跡継ぎと将軍の跡継ぎ問題に端を発し、多くの守護大名を巻き込んだ戦いとは何か
- 応仁の乱
-
- 113 1485年、国人衆が守護の畠山氏の影響力を排除し8年にわたって自治を行った出来事とは何か
- 山城の国一揆
-
- 114 1488年、本願寺の門徒が守護富樫氏を討ち、以降百年近く国を支配した出来事とは何か
- 加賀の一向一揆
-
- 115 1493年、10代将軍足利義植が管領細川政元により追放された事件とは何か
- 明応の政変
-
- 116 1336年に足利尊氏・直義が出した政治の方針とは何か
- 建武式目
-
- 117 南北朝の動乱中、北畠親房が南朝の正当性を主張した書とは何か
- 神皇正統記
-
- 118 鎌倉幕府の滅亡から南北朝の動乱までを記した軍記物とは何か
- 太平記
-
- 119 世阿弥の記した能楽論および芸術論書とは何か
- 風姿花伝
-
- 120 勘合とは何か
- 明と日本で正式な貿易船であることを証明するために持ち合った割り札
-
- 121 守護大名について説明せよ
- 幕府に任命された守護が任地を政治・経済的に支配し領国としたもの
-
- 122 下剋上について説明せよ
- 身分の低いものが身分の高いものを実力で倒すこと
-
- 123 土一揆とは何か
- 農民らが徳政令を求めて団結し行動すること
-
- 124 惣（惣村）とは何か
- 農民によって自治が行われた村落
-
- 125 室町文化（北山文化・東山文化）の特色を説明せよ
- 公家と武家の文化が融合し、禅宗や中国の影響も見られる文化
-
- 126 鎌倉幕府が滅亡したのは何年か
- 1333年
-
- 127 湊川の戦いが起こったのは何年か
- 1336年
-

128 足利尊氏が征夷大將軍に就任し、幕府を開いたのは何年か

1338年

129 足利義満が南北朝を合一したのは何年か

1392年

130 日明貿易が開始したのは何年か

1401年

131 正長の土一揆が起こったのは何年か

1428年

132 琉球王国が統一されたのは何年か

1429年

133 応仁の乱が始まったのは何年か

1467年

134 山城の国一揆が始まったのは何年か

1485年

135 加賀の一向一揆が始まったのは何年か

1488年

136 足利尊氏が擁立した京都の朝廷と、後醍醐天皇が逃れた吉野の朝廷が並立した時代を何というか

南北朝時代

137 初代足利尊氏から、15代足利義昭までの、足利氏が將軍を務めた時代を何というか

室町時代

138 足利義満のころ（室町時代初期）の文化を何というか

北山文化

139 足利義政のころ（室町時代中期）の文化を何というか

東山文化

140 「此頃都ニハヤル物 夜討 強盜 謀（にせ） 繪旨」から始まる文書は何か

二条河原の落書

141 図の建物の名と、建てた人物を答えよ



金閣（鹿苑寺）、足利義満

□ 142 図の建物の名と、建てた人物を答えよ



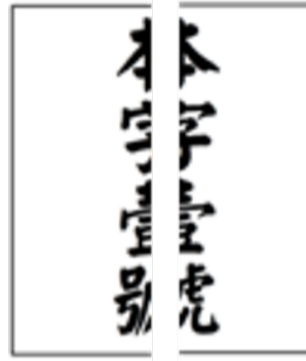
銀閣（慈照寺）、足利義政

□ 143 図の絵の作者は誰か



雪舟

□ 144 図は何を表したもののか



勘合

次の出来事を時代が古い順に並べよ

□ 145 【ア：建武の新政開始 イ：湊川の戦い ウ：鎌倉幕府滅亡 エ：足利尊氏の征夷大將軍就任】

ウ→ア→イ→エ

次の出来事を時代が古い順に並べよ

□ 146 【ア：加賀の一向一揆 イ：応仁の乱 ウ：山城の国一揆 エ：正長の土一揆】

エ→イ→ウ→ア

次の天皇を時代が古い順に並べよ

□ 147 【ア：後鳥羽天皇 イ：後龜山天皇 ウ：後白河天皇 エ：後醍醐天皇】

ウ→ア→エ→イ

次の将軍を就任順に並べよ

□ 148 【ア：足利義満 イ：足利尊氏 ウ：足利義政 エ：足利義教】

イ→ア→エ→ウ

室町時代解答

001	悪党	楠木正成、赤松則祐ら鎌倉幕府打倒に活躍した武士の多くは悪党だった
002	建武	後醍醐天皇は1334年に元号を建武と定め新政を開始するが、足利尊氏の反乱により3年で失敗した
003	二条河原の落書	「近頃都にはやるもの、夜討ち強盗にせ綸旨（天皇の命令書）」から始まる二条河原の落書に批判されたように建武新政は混乱していた
004	南朝	後醍醐天皇が逃れた吉野（奈良県）は京都より南にあったため、南朝とよばれた
005	北朝	歴史上では南朝が正当とされ、北朝の天皇は歴代天皇に数えられていない
006	室町幕府	1338年に足利尊氏は北朝の光明天皇に征夷大將軍に任ぜられ、以降15代にわたる足利氏の將軍による政權を室町幕府とよぶ
007	花の御所	3代將軍足利義満が京都の室町に建てた花の御所に由来して、室町幕府の名が与えられた
008	守護大名	室町時代には守護が莊園に対する年貢の徴収權を得て、領国を支配する守護大名へと変化していった
009	管領	管領は斯波・細川・畠山の三管領家から選出され、幕政を取りしきった
010	鎌倉公方	鎌倉公方は東国の支配權を有し、たびたび將軍と対立した
011	関東管領	関東管領は当初は鎌倉公方の補佐役であったが、後に鎌倉公方以上の權力を持つ
012	九州探題	九州探題は徐々に力を失い、周防国（山口県）の大内氏に吸収された
013	奥州探題	奥州探題ははじめ大崎氏が、後に伊達氏が就任した
014	天竜寺船	後醍醐天皇を弔う天竜寺の建設費用を捻出するため、天竜寺船が元へ派遣され交易を行った
015	倭寇	初期の倭寇は日本人が中心だったが、後に高麗人や中国人が海賊行為を行ったものも倭寇とされた

016	勘合貿易	倭寇と公式な貿易船を区別するため、勘合という割り札を日明双方が持ち合う勘合貿易が行われた
017	朝貢貿易	朝貢貿易は明が皇帝の偉大さを示すため、日本側の輸出品に対して明からの輸出品は高価なものだった
018	銅・硫黄・刀剣	勘合貿易で日本から明へは銅・硫黄・刀剣などが輸出された
019	明銭・生糸	勘合貿易で明からは明銭や生糸が輸出された
020	アイヌ	14世紀には蝦夷地（北海道）に安東氏が渡り、アイヌの人々と交易や争いがあった
021	惣村（惣）	荘園や国司の権限が低下し、現地の守護と結びつきを強めた惣村は自治権を得た
022	入会地	惣村の構成員が薪や木材を切り出す共有地を入会地という
023	百姓請（地下請・村請）	惣村は領主や地頭を通さず、村落全体で領主への年貢納入の責任を負った
024	寄合	惣村では寄合という会議によって物事を取り決めた
025	土一揆	惣村の農民（土民）による一揆を土一揆といい、多くは徳政令を要求した
026	一向一揆	浄土真宗（一向宗）の信者は本願寺を拠点に一向一揆を起こし自治を行うものもあった
027	国人	国人は在地領主として独自の権力を持ち、荘園領主や守護に対抗した
028	国一揆	在地の国人衆が守護に対して反乱を起こしたものを国一揆という
029	下剋上	室町時代から戦国時代にかけては家臣が主君を打倒す下剋上が多く見られた
030	木綿	綿花から取った木綿は軽くて吸湿性が高く、衣類や漁網に使われた
031	6回（六斎市）	室町時代には月6回の六斎市が開かれるようになった

032	座	鎌倉時代には座という商工業者の組合が結成され、独占的な商売を行った
033	永楽通宝	勘合貿易や倭寇の活動により日本に入ってきた永楽通宝が広く普及して用いられた
034	土倉	鎌倉～室町時代にかけて、土倉という質屋（貸金業者）が活動していた
035	酒屋	鎌倉～室町時代にかけて、酒屋は大商人として貸金業も営んでいた
036	問屋	水運・倉庫業者の問丸が問屋（といや）になり、現代の問屋（とんや）になった
037	馬借	陸上での荷物運送には馬借が活躍した
038	五山	幕府により京都五山（第一位は天竜寺）と鎌倉五山（第一位は建長寺）が定められた
039	足利学校	足利学校における教育は「坂東のアカデミー」として海外にまで伝えられた
040	猿楽	寺社の祭礼で催された様々な芸能が猿楽になった
041	能	猿楽は観阿弥・世阿弥によって大成され、明治以降は能とよばれるようになった
042	連歌	室町時代には連歌が流行し、宗祇ら連歌師が活躍した
043	節分（豆まき）	節分（2月3日）に豆まきをする風習は室町時代に始まった
044	盆踊り	盆踊りの風習も室町時代から始まった
045	御伽草子	御伽草子は絵入りの写本として民衆の間に広まった
046	華道（いけ花）	華道は室町時代に京都の池坊という僧によって確立された
047	金閣	足利義満の建てた金閣は鹿苑寺としてその姿を残している

048	銀閣	足利義政の建てた銀閣は、慈照寺としてその姿を残す
049	書院造	室町時代の書院造が現在の和室の原型になっている
050	東求堂	慈照寺東求堂は書院造の代表的な建築である
051	枯山水	石と砂の模様で自然の山水を描いた庭園を枯山水といい、竜安寺石庭が有名
052	西陣織	西陣織は応仁の乱で西軍が本陣を置いたことに由来する名前
053	水墨画	墨の濃淡だけで絵を描く水墨画は、室町時代に雪舟によって大成された
054	中継貿易	琉球王国は中国・日本・東南アジアを結ぶ中継貿易によって繁栄した
055	祇園祭	平安時代に始まった祇園祭は応仁の乱で中断したが町衆の力で再開された
056	門前町	大きな寺社の門前には、参拝客を相手にする商工業者が集まり門前町が形成された
057	六波羅探題	足利尊氏は京都を攻める途上で後醍醐天皇に味方し、六波羅探題を攻め落とした
058	鎌倉	鎌倉幕府の御家人であった新田義貞は後醍醐天皇に味方し、鎌倉を攻め落とした
059	吉野	後醍醐天皇は足利尊氏に偽物の三種の神器を渡し、自らは吉野（奈良県）に逃れ正当な天皇であると主張した
060	室町	3代将軍足利義満が京都の室町に建てた花の御所に由来して、室町幕府の名が与えられた
061	明	明は中国を統一し、倭寇の取り締まりを日本に求め交易を開始した
062	朝鮮（李朝）	李成桂が建国した朝鮮王朝は李氏朝鮮（李朝）ともよばれる
063	琉球王国	3つの国に分かれていた沖縄本島を尚巴志が統一し、周辺諸島と合わせ琉球王国が成立した

064	首里城	首里城跡は世界文化遺産に指定されているが、再建された首里城は2019年に焼失した
065	三河国（愛知県東部）	木綿は明や朝鮮から輸入されていたが、16世紀には三河国での生産がさかんになった
066	石山本願寺	京都の大谷本願寺から宇治の山科本願寺を経て、大阪の石山本願寺が本山となり、各地の一向一揆を指導した
067	鹿苑寺	足利義満の建てた金閣は鹿苑寺としてその姿を残している
068	慈照寺	足利義政の建てた銀閣は、慈照寺としてその姿を残す
069	竜安寺	石と砂の模様で自然の山水を描いた庭園を枯山水といい、竜安寺石庭が有名
070	博多	博多の町は大内氏・大友氏らの支配下で日明貿易や琉球・南蛮貿易を行い自治都市として大いに栄えた
071	堺	堺の町は濠を巡らせた環濠都市で、大商人による自治が行われていた
072	長野	善光寺には日本最古の仏像があり、多くの信仰を集め門前町の長野が栄えた
073	後醍醐天皇	後醍醐天皇の挙兵（元弘の乱）は失敗に終わり、隠岐に流されたが脱出し再度の倒幕を図った
074	北条高時	1333年鎌倉を攻略され、執権北条守時と元執権の北条高時が自害して鎌倉幕府は滅亡した
075	足利尊氏（高氏）	足利尊氏は京都を攻める途上で後醍醐天皇に味方し、六波羅探題を攻め落とした
076	新田義貞	鎌倉幕府の御家人であった新田義貞は後醍醐天皇に味方し、鎌倉を攻め落とした
077	後醍醐天皇	足利尊氏・新田義貞らが幕府を滅ぼした後、後醍醐天皇は京に入り新政を開始する
078	光明天皇	光明天皇の即位により吉野の南朝（大覚寺統）と京都の北朝（持明院統）が並立する南北朝時代となった
079	楠木正成	勝ち目のない湊川で天皇のために最後まで戦った楠木正成は英雄視され、明治時代に皇居前に銅像が建てられた

080	護良親王	護良親王は建武新政開始時に征夷大將軍となるが、後醍醐天皇・足利尊氏と対立し暗殺された
081	足利直義	尊氏の弟である直義は建武式目の制定など幕府の中心となるが、兄との対立から觀応の擾乱を引き起こす
082	足利義詮	2代將軍足利義詮は南北朝の戦いを終息に向かわせた
083	高師直	幕府の中心であった高師直は足利直義と対立し、觀応の擾乱を引き起こした
084	斯波氏・細川氏・畠山氏	管領は斯波・細川・畠山の三管領家から選出され、幕政を取りしきった
085	赤松氏、一色氏、京極氏、山名氏	有力な守護大名であった赤松氏、一色氏、京極氏、山名氏は四職といわれ、交代で侍所の長官に任ぜられた
086	足利義満	3代將軍義満は南北朝を合一し勘合貿易を開き、室町幕府の全盛期を築いた
087	宗氏	宗氏は対馬の領主として倭寇対策や朝鮮との外交・貿易にあたった
088	尚巴志	3つの国に分かれていた沖縄本島を尚巴志が統一し、周辺諸島と合わせ琉球王国が成立した
089	蠣崎氏	蠣崎氏はコシヤマインと戦い、後に松前氏と改姓して江戸時代まで続く大名家となる
090	足利義持	4代將軍義持は室町幕府將軍で最長の28年間務め、比較的安定した治世だった
091	足利義教	6代將軍義教はくじ引きによって將軍に選ばれ、悪御所とよばれた暴君として最期は赤松満祐に嘉吉の乱で暗殺された
092	足利義政	8代將軍義政の治世は東山文化が栄えたが、幕府は衰退の途をたどった
093	日野富子	日野富子は足利義政の妻で、政治に興味のない義政に代わり幕政を取り仕切った
094	足利義尚	9代將軍義尚は義政と日野富子の子で、足利義視（義政の弟）と將軍の座を争い応仁の乱となった
095	細川勝元	細川勝元は応仁の乱の東軍総大将であった

096	山名宗全（持豊）	山名宗全は応仁の乱の西総大将であった
097	宗祇	宗祇は生涯旅を続け連歌を大成した
098	観阿弥	観阿弥は祭礼で行われていた猿楽を芸術としての能へと大成させた
099	世阿弥	観阿弥と世阿弥の親子によって能が大成され、現代にまで伝統として残っている
100	雪舟	雪舟は明で水墨画を学び、日本独自の山水水墨画を大成した
101	建武の新政	後醍醐天皇は1334年に元号を建武と定め新政を開始するが、足利尊氏の反乱により3年で失敗した
102	中先代の乱	北条氏の残党による中先代の乱を鎮圧した足利尊氏は鎌倉にとどまり、後醍醐天皇と対立する
103	湊川の戦い	湊川の戦いで足利尊氏は楠木正成、新田義貞を破り後醍醐天皇は吉野へ落ち延びた
104	観応の擾乱（かんのうのじょうらん）	観応の擾乱の間に尊氏は一時的に南朝に降伏し、北朝の正当性が失われた
105	正平一統	正平一統は観応の擾乱終結後に破談となり、ふたたび北朝が復活する
106	南北朝の合一	明德の和約で南朝の後亀山天皇が退位し、南北朝が合一した
107	応永の外寇	応永の外寇以降、倭寇の活動は沈静化し、日本と朝鮮の間の貿易は対馬の宗氏が独占することになった
108	正長の土一揆	正長の土一揆は畿内全域に広がり史上初の農民一揆となり、土倉の持っていた借金の証文を破棄し実質的な徳政となった
109	嘉吉の変	義教を暗殺した赤松則祐は山名持豊（宗全）に討たれ、山名氏の権力が増大する
110	嘉吉の徳政一揆	嘉吉の徳政一揆では京都が馬借や地侍に包囲され、幕府はやむなく徳政令を發布した
111	コシャマインの戦い	アイヌの指導者だったコシャマインが武田信広（蠣崎信広）に討たれ戦いは終わる

112	応仁の乱	1467年、京都で発生した応仁の乱は10年にわたって続き、幕府の権威は失墜した
113	山城の国一揆	山城国（京都府南部）の国人、農民たちによる8年にわたる自治を山城の国一揆という
114	加賀の一向一揆	浄土真宗本願寺派（一向宗）の門徒による加賀の一向一揆が加賀国（石川県）を1580年まで支配し、「百姓の持ちたる国」といわれた
115	明応の政変	義植が追放され、11代将軍に義澄が擁立された明応の政変が、戦国時代の開始とされる
116	建武式目	建武式目の発表は事実上の政権奪取で、御成敗式目と並び武家政権の政治の基本となった
117	神皇正統記	神皇正統記は後の国学や尊皇攘夷思想に影響を与えた
118	太平記	太平記は作者不詳で、鎌倉幕府の滅亡から南北朝の動乱までを記した軍記物である
119	風姿花伝	風姿花伝（花伝書）は世阿弥の能楽論であり、日本的な美について記された書でもある
120	明と日本で正式な貿易船であることを証明するために持ち合った割り札	日本の貿易船は明から発行された勘合を持ち、文字がぴったり合えば正式な貿易船と認められ、倭寇と区別された
121	幕府に任命された守護が任地をを政治・経済的に支配し領国としたもの	鎌倉時代の守護は軍事・警察権のみを持っていたが、室町時代には経済的支配も守護が握り、守護大名へと進化した
122	身分の低いものが身分の高いものを実力で倒すこと	室町時代には下剋上が多く見られ、戦国大名が生まれていった
123	農民らが徳政令を求めて団結し行動すること	正長の土一揆、嘉吉の徳政一揆など、室町時代には土一揆が頻発した
124	農民によって自治が行われた村落	荘園や国司の権限が低下し、現地の守護と結びつきを強めた惣村は自治権を得た
125	公家と武家の文化が融合し、禅宗や中国の影響も見られる文化	足利義満のころの文化を北山文化、足利義政のころの文化を東山文化といい、公家文化と武家文化が融合した文化が生まれた
126	1333年	1333年、新田義貞に鎌倉を攻略され、執権北条守時と元執権の北条高時が自害して鎌倉幕府は滅亡した
127	1336年	湊川の戦いで足利尊氏は楠木正成、新田義貞を破り後醍醐天皇は吉野へ落ち延びた

128	1338年	後醍醐天皇を破った足利尊氏は、北朝の光明天皇に征夷大將軍に任ぜられた
129	1392年	明德の和約で南朝の後龜山天皇が退位し、南北朝が合一した
130	1401年	足利義満が1401年に博多商人の肥富を明に派遣し、1404年からは勘合貿易が開始された
131	1428年	正長の土一揆は畿内全域に広がり史上初の農民一揆となり、土倉の持っていた借金の証文を破棄し実質的な徳政となった
132	1429年	3つの国に分かれていた沖縄本島を尚巴志が統一し、周辺諸島と合わせ琉球王国が成立した
133	1467年	1467年、京都で発生した応仁の乱は10年にわたって続き、幕府の権威は失墜した
134	1485年	山城国（京都府南部）の国人、農民たちによる8年にわたる自治を山城の国一揆という
135	1488年	浄土真宗本願寺派（一向宗）の門徒による加賀の一向一揆が加賀国（石川県）を1580年まで支配し、「百姓の持ちたる国」といわれた
136	南北朝時代	1336年から1392年まで、2つの朝廷が並立する南北朝時代が続いた
137	室町時代	3代將軍足利義満が京都の室町に建てた花の御所に由来して、室町幕府の名が与えられた
138	北山文化	義満が北山に建てた山荘（金閣）にちなんで、室町時代初期の文化を北山文化という
139	東山文化	義政が東山に建てた山荘（銀閣）にちなんで、室町時代中期の文化を東山文化という
140	二条河原の落書	建武新政の混乱が二条河原の落書で批判された
141	金閣（鹿苑寺）、足利義満	足利義満が北山に建てた金閣は、現在鹿苑寺として残る
142	銀閣（慈照寺）、足利義政	足利義政が東山に建てた銀閣は、現在慈照寺として残る
143	雪舟	墨の濃淡だけで絵を描く水墨画は、室町時代に雪舟によって大成された

144	勘合	倭寇と公式な貿易船を区別するため、勘合という割り札を日明双方が持ち合う勘合貿易が行われた
145	ウ→ア→イ→エ	ウ（1333年）→ア（1333年）→イ（1336年）→エ（1338年）
146	エ→イ→ウ→ア	エ（1428年）→イ（1467年）→ウ（1485年）→ア（1488年）
147	ウ→ア→エ→イ	ウ（12世紀末）→ア（13世紀初め）→エ（14世紀半ば）→イ（14世紀末）
148	イ→ア→エ→ウ	イ（初代）→ア（3代）→エ（6代）→ウ（8代）